

(別紙)

『畜産業振興事業の実施のために独立行政法人農畜産業振興機構からの補助金の交付により造成した基金の管理に関する基準』に基づく報告・公表資料

1. 基金の概要 (平成21年度)

基金の名称	大規模公共牧場肉用牛資源供給拡大対策基金
法人名	社団法人中央畜産会
基金額 (機構補助金等相当額)	503百万円 (503百万円) (平成21年4月1日現在)
基金事業の概要	県域を対象とする公共牧場を核として肉用牛資源の供給拡大等を図るための中期計画の策定等を行う。また、本計画に基づき、県域を対象とする中核的・モデル的な公共牧場において、受精卵移植技術等を活用した肉用牛資源の供給拡大、周年放牧の実施、粗飼料の供給拡大等を進めることにより、農家の低コスト生産の推進及び肉用牛の計画的な増頭に資するための取組みを支援する。

2. 見直し結果 (平成21年度)

項目	講ずる措置
実施した見直しの概要	今後とも基準に適合するよう事業を実施 (使用見込みの低い部分を返還)
基金事業実施期間	平成24年度まで
次回の見直し時期	平成24年度
基金の保有割合	算出した保有割合は1.8であった。算出に用いた方式及び数値については、以下のとおりである。
基金の保有割合の算出	(算出に用いた方式) 保有割合 = 直近年度末の基金額 ÷ 事業完了までに必要となる事業費及び管理費 = 503 百万円 ÷ 277 百万円  (算出に用いた数値) 直近年度末の基金額: 503 百万円 事業完了までに必要な事業費及び管理費: 277 百万円
使用見込みの低い基金等の取扱いの検討結果	使用見込みの低い基金等の該当の有無 有 基準6(1)の⑤に該当  (使用見込みの低い基金等に該当する場合の検討の結果) 事業完了までに必要な事業費及び管理費の277百万円を残置する。
その他	—